

東京電機大学東京千住キャンパスにおける 省CO₂エコキャンパスの実現

学園創立100周年を機に、北千住駅東口前に新キャンパスを建設（平成24年4月に開設）、神田から移転した。建設に当たって「①理工系大学としてトップクラスの省CO₂ ②電力負荷平準化 ③脱燃焼 ④学生への教育効果が高い最新のシステム ⑤都市型キャンパスとしての高い防災性」を軸とした。年間CO₂排出量は1,832t-CO₂（30%削減）、CO₂排出量原単位は文系大学並みの57.1kg-CO₂/㎡、蓄熱システムの採用による年間平均の電力夜間移行率は58%を実現した。

